

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	東淀川区
学 校 名	大阪市立啓発小学校
学校長名	藤澤 淳

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立啓発小学校では、第6学年45名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

ここ数年、本校の平均正答率は徐々に上昇しており、全国平均にはまだ届かないものの、その差は縮まってきている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「言葉の特徴や使い方に関する事項」の設問の正答率は、全国平均と比べてその差が大幅に縮まっている。これは、「新しい時代に必要となる資質・能力の育成のために言語力の向上を目指した基礎・基本の定着」を研究主題に取り上げ、学校全体で取り組んだ成果だと考える。他の領域に関しても全国平均との差を縮めている一方、「話すこと・聞くこと」の設問の正答率だけが、わずかではあるがR1より広がっている。「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして、授業内容を工夫・改善する必要がある。

〔算数〕

習熟度別少人数指導やチーム・ティーチングなど、授業形態を工夫してきた。複数教員のきめ細やかな指導・粘り強い指導によって、本校児童にとって苦手傾向であった「測定」「図形」の設問の正答率は、全国平均と比べてその差が大幅に縮まった。

質問紙調査より

タブレットPCや大型モニターなどのICT機器を日常的に活用しながら授業展開を工夫していることが、「国語（算数・英語）の勉強は好きですか」等の質問に対する肯定的回答率の高さにつながっている。また、「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して肯定的に回答した児童の割合が高かったのは、本校が長年にわたって取り組んできた「生き方教育」の成果だと考える。

一方で、朝食をきちんととる習慣、決まった時刻の就寝、計画的な家庭学習など基本的な生活習慣が定着していない。今後も、状況の改善に向けて家庭との連携を図りながら、児童が自立するための手立てを工夫していきたい。

今後の取組(アクションプラン)

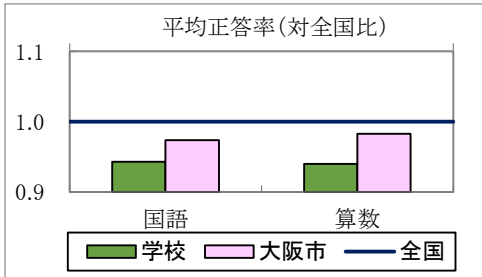
さまざまな取り組みを継続的に行ってきたことで、授業に対する肯定的回答率は高く、学習意欲の向上につながっていることがわかる。国語・算数ともに全国平均との差を縮めていることから、発展的学習を取り入れるなど、今後も引き続き、学習活動や指導法の工夫を行っていききたい。

- ・ICT機器の利活用による、思考力の育成・向上、協働的な学びのある授業の工夫
- ・習熟度別少人数指導やチーム・ティーチングなど学習形態を工夫するなかでの基礎・基本の定着
- ・小中一貫校の特性を生かした、小中連携による専門性の高い授業の工夫
- ・反復練習や発展学習に自ら取り組める、タブレットPCの活用の工夫
- ・読解力の育成に向けた、読書活動のさらなる充実

【 全体の概要 】

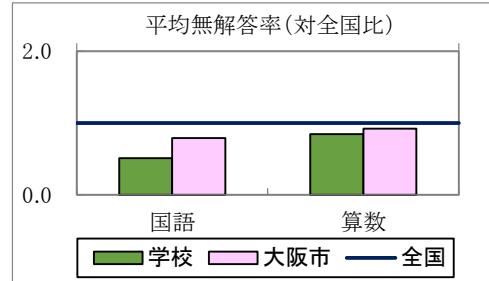
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	61.0	66.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率（％）

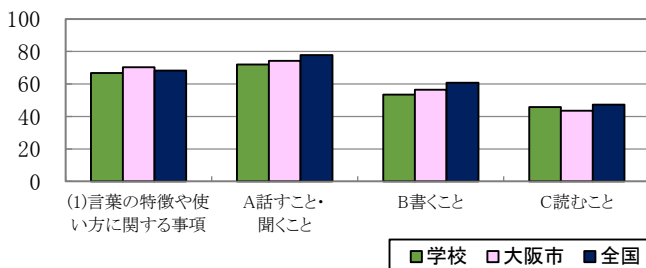
	国語	算数
学校	2.2	2.2
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



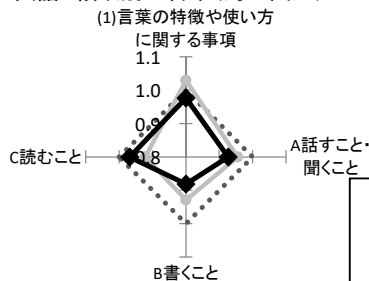
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	6	66.7	70.3	68.3
(2)情報の扱い方 に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	72.1	74.3	77.8
B 書くこと	2	53.5	56.4	60.7
C 読むこと	3	45.7	43.5	47.2

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



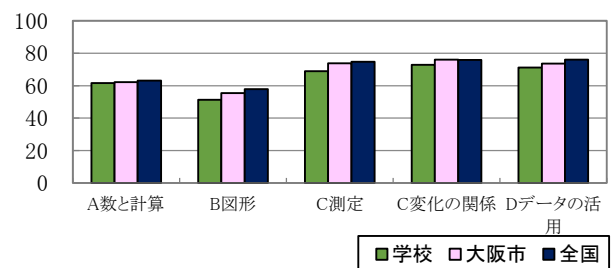
国語 領域別正答率(対全国比)



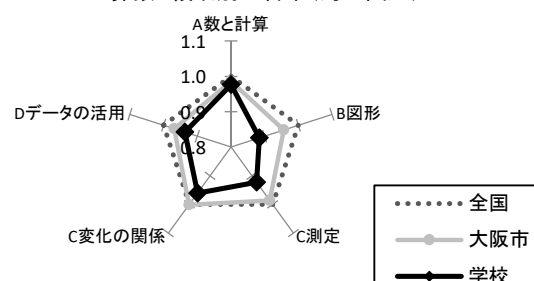
【 算 数 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	61.6	62.2	63.1
B 図形	3	51.2	55.4	57.9
C 測定	3	69.0	73.8	74.8
C 変化と関係	3	72.9	76.0	75.9
D データの活用	5	71.2	73.6	76.0

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

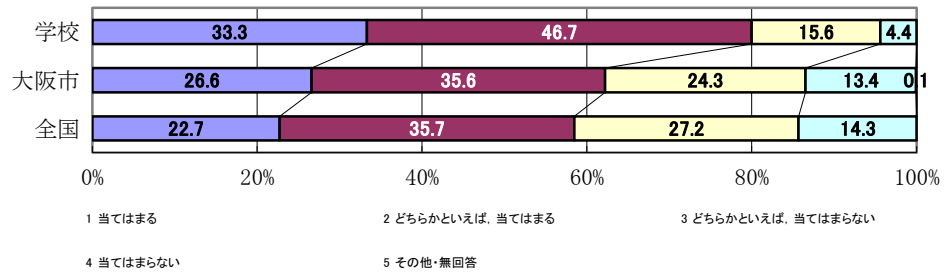
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

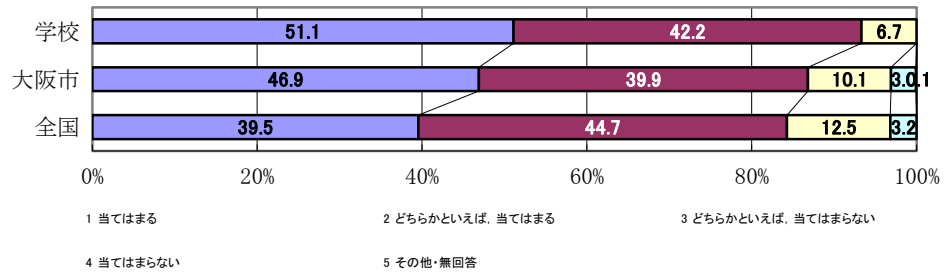
43

国語の勉強は好きですか



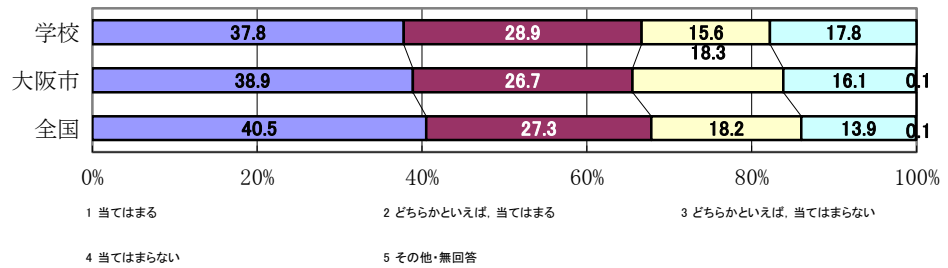
45

国語の授業の内容はよく分かりますか



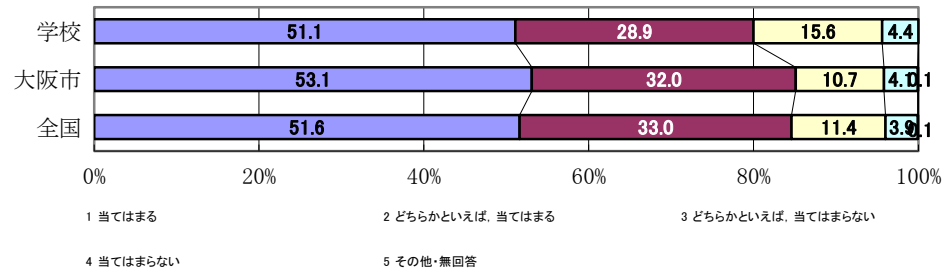
52

算数の勉強は好きですか



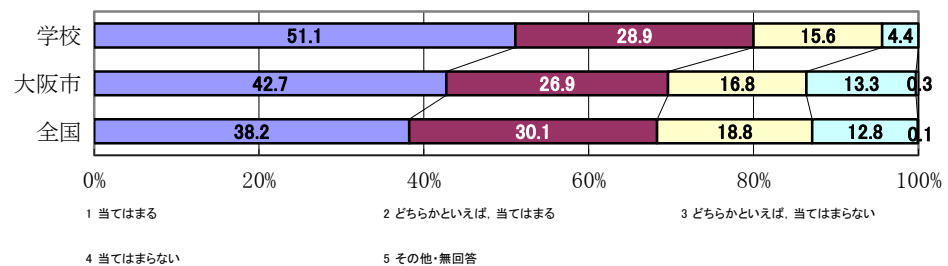
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



61

英語の勉強は好きですか



児童質問紙より

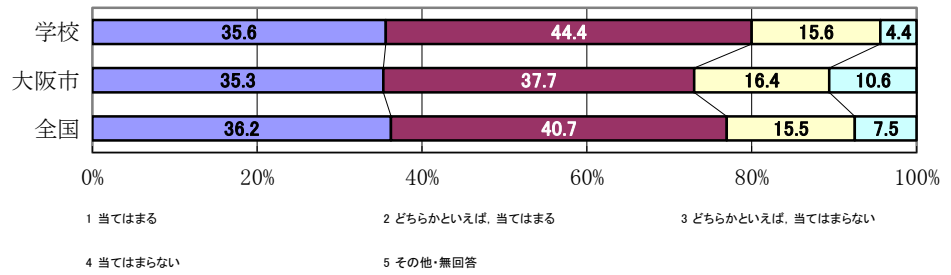
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

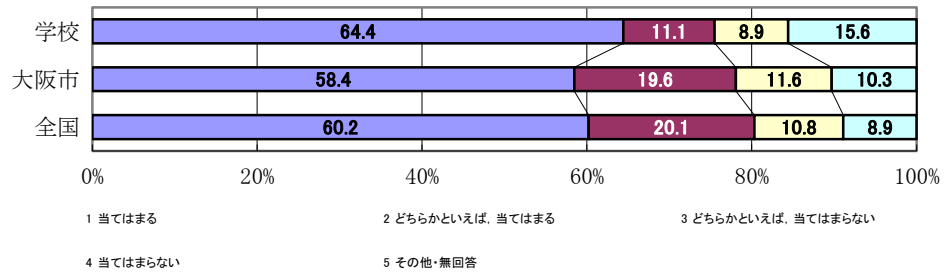
6

自分には、よいところがある
と思いますか



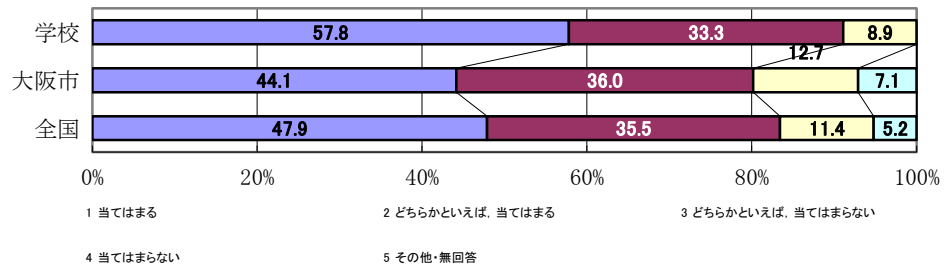
7

将来の夢や目標を持っ
ていますか



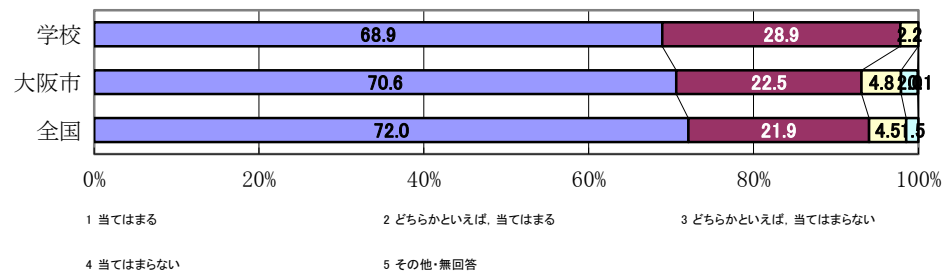
13

学校に行くのは楽しいと思
いますか



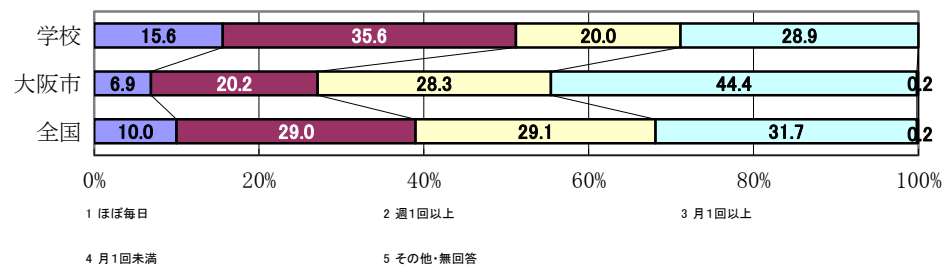
16

友達と協力するのは楽しい
と思いますか



27

あなたは学校で、コン
ピュータなどのICT機器を、
他の友達と意見を交換した
り、調べたりするために、ど
の程度使用していますか



児童質問紙より

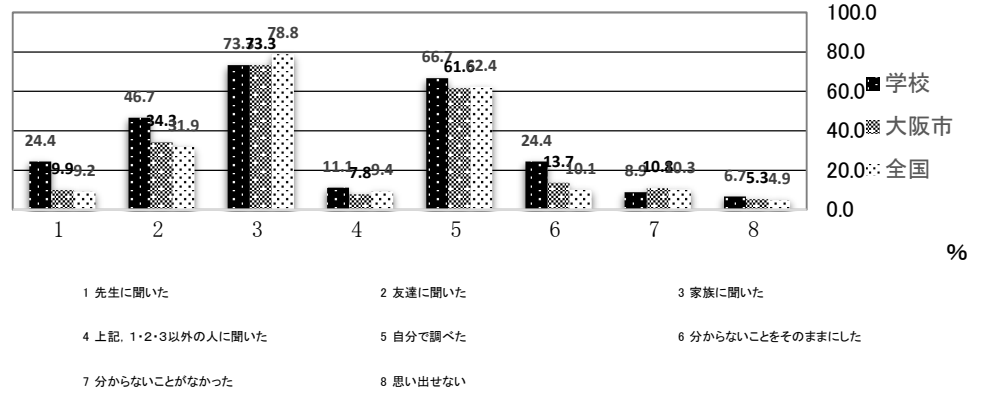
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

67

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか。当てはまるものをすべて選んでください



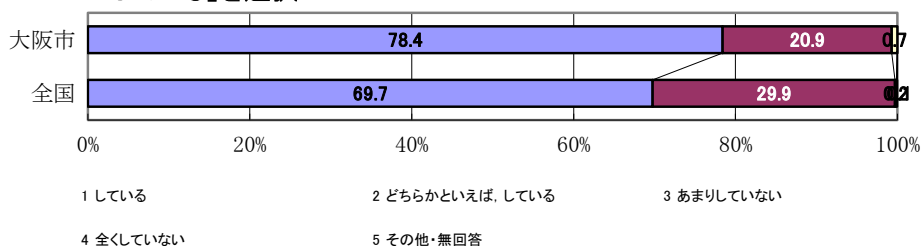
学校質問紙より

質問番号
質問事項

15

学校として、必要な場合に、変化に柔軟に対応していますか

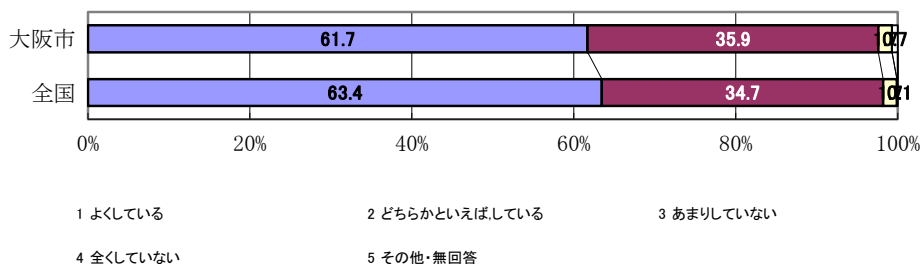
学校 「している」を選択



23

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

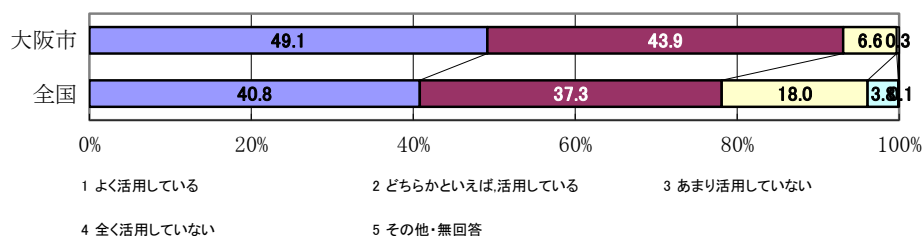
学校 「よくしている」を選択



70

あなたの学校では、コンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ①教職員間の連絡

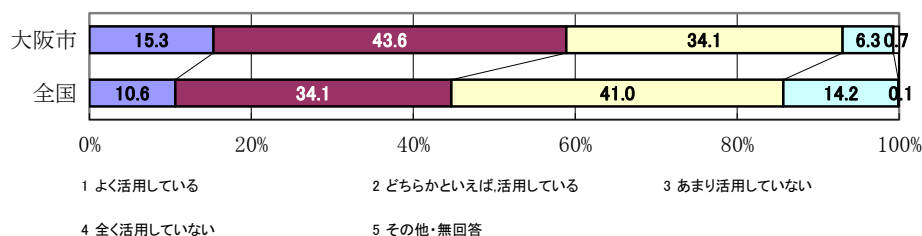
学校 「よく活用している」を選択



71

あなたの学校では、コンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ②教職員と児童がやりとりする場面

学校 「よく活用している」を選択



78

前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

